

- 設備の経年劣化データや新たな点検機材の開発状況等を踏まえて、合理的で実現可能な点検方法への見直しを検討。

- 点検の実施及び報告が行いやすい環境を整備し、点検報告率の向上を推進。
 - 消火器点検アプリの利用状況を調査し、解説動画の追加など必要に応じて改善を検討。

 - 郵送による報告を可能とする対象範囲の拡大等について検討。